

- 1 日 時 平成30年12月14日（金）
- 2 学 年 1年1組 18名（男子 8名 女子 12名） Jump コース
- 3 単元名 POWER-UP10 Speaking 買い物①（Tシャツを買う）  
（SUNSHINE ENGLISH COURSE 1）
- 4 単元について

単元観

本単元は、新学習指導要領の目標（3）話すこと [やり取り] 「ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。」を受けて設定したものである。買い物の特有の表現を使い、定員と客になり切って対話を演じることで、英語での自然なやり取りを身に付けることをねらいとしている。外国の方とコミュニケーションを取る場面において、自然なやり取りができるようなタスクを設定することで、英語でコミュニケーションを行うことへの意欲を高め、英語を使う必然性をもたせることができると考える。

また、小学校の Hi, friends!1 で、What would you like?, I' d like～.を学習しているので、既習の学習と結びつけると効果的に発展的な学習活動ができる単元である。

生徒観

本学級の生徒は習熟度別クラスの発展コースであり、外国語を積極的に使用しようとする態度が見られ、大変意欲的である。男女問わず、ペアやグループ学習を行うことができ、全体的に良い雰囲気です。また、学習した内容を活用させたい生徒は多く、既習表現を使って更に様々なことに挑戦したいと考えている。授業の帯学習で行っている three hint quiz によって表現できる幅が増えてきている。

生徒アンケートを行った結果は以下の通りである。

質問項目	肯定的回答
1 英語の授業は楽しいです。	100%
2 英語を使って友だちや外国の方を話してみたいと思う。	86.9%
3 授業で学習したことを使って、英語で話そうとしています。	100%
4 授業で学習したことを、実際に使って話しています。	82.6%
5 英語で話した内容が相手に伝わると嬉しいです。	100%
6 新しく学習した内容と前に学習した内容を結び付けて、学習を進めようとしています。	100%

上記の結果から、英語の授業について大変意欲的に学習をしていると考えられる。特に英語を話すことに関しては、間違いを恐れずに話そうとする生徒が多い。やり取りに関するパフォーマンステストでも、“Me, too.” “I see.” “Really?” “How about you?” “Do you like ○○ too?” のような相づちを打ったり質問をしたりすることで、会話を続けようとする姿勢が見られた。しかし、様々な質問をすることは、生徒にとって容易ではない。従って、新出構文を学習した際に新出構文のみを用いてやり取りを行うのではなく、既習事項に関連した表現を用いて自然な会話になるように、継続した指導を行っている。その取組により、外国語による表現の幅は確実に広がってきており、新出で学習した内容だけではなく、既習の内容と組み合わせる表現ややり取りの幅を広げさせるような指導を引き続き行っている。

話すことに慣れさせ、徐々に「読むこと」「書くこと」の指導を取り入れていくことで、英語に苦手意識をもたせず、4技能を統合させた指導の充実を図る必要がある。

指導観	本単元の目標を達成するために、次の3点を重点的に指導する。
	①英語で買い物をする表現などについて、 <b>基礎・基本の定着</b> を図る。
	②英語で買い物する場面において、帯学習で様々な条件を入れながら思考させ、その場に応じた表現方法を考えさせるなど <b>主体的な学び</b> を促す。
③先生へのインタビューを通して得た情報をもとに自分自身で課題を見付け、先生の好みに適した料理を作るというゴールに向けて探究し表現させることで、 <b>本校の資質・能力</b> である「庄中FIND」 「表現力」を身に付けさせる。	

#### 5 単元の目標

- 【コ】間違いを恐れずに、今まで学習した表現を用いて、積極的に買い物をする。
- 【表】条件に応じたものを買うために、店員から詳しい情報を引き出す質問をする。
- 【理】教科書の本文を読み、買い物でのやり取りの仕方などについて理解する。
- 【知】買い物に特有な表現について文の形・意味・用法について理解する。

#### 6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
間違いを恐れずに、積極的に買い物しようとしている。	条件に応じたものを買うために、店員から詳しい情報を引き出している。	教科書の本文を読み、買い物でのやり取りの仕方について理解できる。	Can I help you? How much is it? Here you are.などの文の形・意味・用法について理解することができる。

#### 7 本校で身に付けさせたい資質・能力

庄中FIND	表現力	行動力	協働する力	貢献（自己肯定感）
自分自身で課題を見付け、ゴールに向けて探究しようとする力が身に付いている。	その場に応じて適切な表現を判断し、紹介したり、問答したりする学びを目指す。	相手に伝えたり、問答したりするなど、積極的に行動する態度を目指す。	他者と意見や考えを交流することで、より良い解決方法を導き出す姿勢を目指す。	お互いが紹介したことについて、肯定的に評価することで、より良い人間関係を形成しようとする態度を目指す。

#### 8 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	田淵先生の好みに合う料理に必要な材料をお店で買うため、詳しい情報を店員から引き出す質問をしながら、やり取りをすることができる。
目指す発話例	<b>【対話例①】</b> A : Can I help you? S : Yes, please. <b><u>I'm looking for</u></b> meat. A : What meat do you want? S : <b><u>I want</u></b> beef. A : OK. Which one do you want? S : <b><u>I want</u></b> this one. <b><u>How much is it?</u></b>

	<p>A : It's 30 dollars.  S : <u>Here you are.</u>  A : Thank you very much. Have a nice day.  S : Thank you.</p>
目指す発話例	<p>【対話例②】  A : Can I help you?  S : Yes, please. I make curry and rice. <u>I want</u> vegetables.  A : What vegetables do you want?  S : <u>I want</u> two onions and three carrots and two potatoes.  A : OK. How about this?  S : Thank you. <u>How much is it?</u>  A : It's 8 dollars.  S : <u>Here you are.</u>  A : Thank you very much.</p>

9 小学校外国語を踏まえた指導の工夫

①今まで学習した表現を用いて、その場で質問をしたり答えたりする。

②関連する言語材料

Hi, friends!1	Hi, friends!2 → 中学校	中学校
<p>《Hi, friends 1 : Lesson9》  What would you like?  I'd like～.</p>	<p>何が好きかについて質疑応答したり、値段を尋ねたりする簡単なタスクから、I'm looking for～.などの表現で自分の意思を伝えるなど、より自然な会話につながる。</p>	<p>Can I help you?  I'm looking for～.  What color do you want?  How about this?  How much is it? / Here you are.</p>

10 単元計画（全4時間）

時	目標（◆）・主なやり取り等（*）	評価規準・評価方法										
1	<p>◆ 教科書の本文を読み、買い物に必要な表現を知る。  *ペアで簡単な買い物をする。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>A : Can I help you?</td> <td>B : Yes, I'm looking for a hat.</td> </tr> <tr> <td>A : What color do you want?</td> <td>B : I want a blue one.</td> </tr> <tr> <td>A : How about this one?</td> <td>B : That's good. How much is it?</td> </tr> <tr> <td>A : It's 10 dollars.</td> <td>B : Here you are.</td> </tr> <tr> <td>A : Thank you.</td> <td></td> </tr> </table> <p>*単元末のパフォーマンス課題についても説明を行う。</p>	A : Can I help you?	B : Yes, I'm looking for a hat.	A : What color do you want?	B : I want a blue one.	A : How about this one?	B : That's good. How much is it?	A : It's 10 dollars.	B : Here you are.	A : Thank you.		<p>ワークシート（ウ）  行動観察（エ）</p>
A : Can I help you?	B : Yes, I'm looking for a hat.											
A : What color do you want?	B : I want a blue one.											
A : How about this one?	B : That's good. How much is it?											
A : It's 10 dollars.	B : Here you are.											
A : Thank you.												
2	<p>◆ 条件に合った買い物をするために、教科書本文以外の表現方法を知る。  *グループで条件に合った買い物をする。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">《新しく学ぶ表現》</td> </tr> <tr> <td>Do you have○○too?</td> <td>Yes, we do.</td> </tr> <tr> <td>I want○○. Do you have it?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Can I try this on?</td> <td>Of course.</td> </tr> <tr> <td>I want other one.</td> <td></td> </tr> </table>	《新しく学ぶ表現》		Do you have○○too?	Yes, we do.	I want○○. Do you have it?		Can I try this on?	Of course.	I want other one.		<p>行動観察（ア）  ワークシート（エ）</p>
《新しく学ぶ表現》												
Do you have○○too?	Yes, we do.											
I want○○. Do you have it?												
Can I try this on?	Of course.											
I want other one.												

3 【本時】	◆条件に合った買い物をする。 *グループでいくつかの料理を完成させるために、それぞれが必要なものを手に入れる。	行動観察 (ア) 後日パフォーマンス テスト (イ)
4	◆条件に合ったものを買うために、ALTと会話を続けることができる。	パフォーマンステスト (ア) (イ)

11 本時の学習

(1) 本時の目標

- グループでいくつかの料理を完成させるために、それぞれが必要なものを手に入れる。

(2) 本時の評価規準

- 間違いを恐れずに、積極的に買い物しようとしている。(ア)
- 条件に応じたものを買うために、店員から詳しい情報を引き出す質問をすることができる。(イ)

(3) 準備物

事前に田淵先生にインタビューを行ったメモ、ワークシート、iPad、電子黒板

(4) 本時の学習展開

時	学習活動	指導上の留意事項	評価規準, 方法
12分	<p>1 《Small Talk》 (ペア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提示されたお題について、買い物のやり取りを行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>Small Talk (小学校との関連)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物に必要な表現方法を復習する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>Eraser game (小学校との関連)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Small Talk でのやり取りをより円滑にさせるために、買い物に必要な表現をできるだけ多く発話させる。</li> <li>・条件に応じたものを買うために、店員から詳しい情報を引き出させることで、自然なやり取りをさせる。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>基本重要表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Can I help you? ・ I'm looking for~. ・ What○○do you want?</li> <li>・ I want ~. ・ How about this one?</li> <li>・ How much is it? ・ It's ~ dollars.</li> <li>・ Here you are.</li> </ul> </div>		など
30分	<p>2 《ねらいの確認》 (全体)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>クリスマスパーティで田淵先生の好みに合う料理を作るために、必要な材料を手に入れる。</p> </div> <p>3 《Activity》 (ペア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に行った田淵先生へのアンケートを基に店員とやり取りを行い、必要な材料を手に入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あえてモデル文やデモンストレーションは見せずに、今まで学習した内容でどの位買い物をする事ができ</li> </ul>	<p>行動観察 (ア①) ワークシート (イ①)</p>

	<p>《やり取り例》  A : Can I help you?  S : Yes, please. I want meat.  A : What meat do you want?  S : <u>I want</u> beef.  A : OK. How about this?  S : That's OK. <u>How much is it?</u>  A : It's 5 dollars.  S : <u>Here you are.</u>  A : Thank you very much.</p>	<p>るのか挑戦させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• やり取りの途中で、“Do you have any problems?” などの質問を行い、やり取りの精度を高めさせる。</li> <li>• やり取りを継続させる中で生徒が困っている状況があれば活動を中断し、どのようにすれば良いのかに気付かせる。</li> <li>• 質問や答えに対して、相手の考えや伝えたい内容が理解していることを表現させるために、リアクションを入れさせる。</li> <li>• 正しい英語でなくても良いので、相手の反応などを見ながら状況に応じたやり取りを行わせる。</li> <li>• 良い例などは iPad で撮影し、その場で全体に共有することで、生徒の発話の質を高めさせるだけではなく、苦手な生徒への手立てを行う。</li> </ul>	
	<p>主體的な学びから深い学びに繋ぐ手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 買い物に行くと品物が売り切れている場面を意図的に設定し、生徒が困っている状況で、どのようにすれば課題を解決することができるのか、そのためにはどのような表現を使えばいいのかを考えさせる。</li> </ul>	
8分	<p>5 《まとめと振り返り》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 何組かを指名し、即興でやり取りをさせ、本時のまとめを行う。</li> <li>• <b>Evaluation Sheet</b> に振り返りを書く。</li> <li>• パフォーマンステストについて知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 重要表現だけではなく、既習事項を用いていた場合は、どのような表現を用いていたのかを考えさせるなどして、全体で共有させる。</li> <li>• 振り返り表に達成できたことや難しかったことなどを記入し、次時のパフォーマンステストに生かす。</li> <li>• まとめや振り返りから、本時の学習をどのように生かすことができるのかを考えさせる。</li> </ul>	

12 パフォーマンステスト（ALTとのやり取り）

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力
A	間違いを恐れずに、学習したことを用いて積極的にやり取りを続けようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物に必要な表現だけではなく、既習事項も取り入れてやり取りを続けている。</li> </ul> 例) I'm looking for~. I want~.
B	間違いを恐れずに、学習したことを用いてやり取りを続けようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物に必要な表現を用いて、やり取りを続けている。</li> <li>・多少の表現の間違ひはあるが、やり取りが成立しており、必要な材料を買うことができている。</li> </ul> 例) I looking for~. ○○ please.
C	自ら意欲的にやり取りをしようとする姿勢が見られない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やり取りが成立しておらず、必要な材料を買うこともできていない。</li> </ul> 例) 店員から聞かれた内容について答えられない、または適切ではない解答をする。 商品を買うときに、"Salmon" "two"など買い物に必要な表現を用いることなく、単語のみで答えている。